

初当選以来六年、道議会活動をかえりみて！ 二期目の総仕上げ、折り返して全力前進、更なる挑戦。

農業振興

二期目当選し何としても入りたかった農政常任委員会一期生の自民党枠は1議席のみ、人気の高い委員会であり、それだけに各地からの要望が多い委員会でありましたが、理事となる事ができました。忘れることができないのは、今は故人となられた相馬 暁先生との対談。これからの北海道は農業、2020年農業が輝く」と、しかし農業を真剣に考えている道議会議員は少ない、村田君しっかりと頼むよと病床に有りながら先生の言葉は重い。農業に対する情熱に敬服いたしました。

近年は食の偽装事件など食の安全・安心に関わる問題をはじめ、WTOなどの国際農業交渉の活発化、配合飼料、肥料、燃油といった農業生産資材の価格高騰問題さらには国の新たな食料・農業・農村基本計画への対応などまさに本道農業・農村に大きな影響を及ぼす問題が次々と持ち上がり、生産現場の声をしっかりと聞き対応します。羊蹄山麓地域からパワーアップ事業等の基盤整備の要望が多く今年度予算増額することができました。引き続き農家負担軽減対策として平成23年以降の事業継続に向けしっかりと取り組みます。



真狩村土地改良資材施設調査



地元から知事へ支庁存続要請

支庁制度改革

自民党内の支庁制度検討委員会のメンバーとして議論を重ね、ギリギリのところまで後志支庁は総合振興局として存続することが確定となり昨年の三定での徹夜議会で決定することができました。管内町村長さんを始め各界の皆様が熱心な要請活動が実を結び決定に胸をなで下ろしました。しかし地方四団体との折り合いがつかず本年第一例会会で修正案が示され決着を見

たところであり、今後行政改革は確実に進めなければなりません。後志の発展振興が妨げられないようしっかりと対応して参ります。

地球温暖化と環境問題

一般質問、委員会等すいぶん議論してきました。環境政策に関する制度実施の確認と条例制定、北海道の森林がもたらす価値は年間1兆1千億円と試算されている。二酸化炭素の吸収源となる森林整備の促進、一時後志の整備予算が減少したが後志の豊かな自然を守り環境への対応と緑の雇用政策が計られ予算は上向き傾向となってきた。

初当選初の質問が水産振興の課題

生産目標、トド対策、漁港・漁場整備、密漁対策など質問、翌日には質問を受け道庁内に「密漁対策検討チーム」が立ち上がる。全道組合長会議等の要望が強かった漁業法改正による密漁の罰則規定が強化され罰金10万円以下から200万円以下に懲役六ヶ月以下が2年以下とされた。トド対策は強化網の補助は継続されているが刺し網については研究中、まだまだ助成のあり方や手法に課題が多い、対策が急がれる。

昨年より神恵内村、泊村、岩内町、寿都町四町村と漁業者の強い要望があり後志以南においてモニタリング稚魚の放流30万尾が行われ、3年間の放流とその後3年生態調査を行いニシンの増大を図ることとした。後志支庁、道水産部の取り組みに感謝をし、日本海漁業振興の大きな前進と考える。今後は、藻エネルギーのふるさと後志

道民生活や経済産業活動に欠かすことの出来ないエネルギー、北海道開拓と共に茅沼炭鉱がエネルギー供給源として北海道発展の一翼を担い、本年12月には泊発電所3号機が営業運転される予定でその他、京極町に於いては揚水発電所が建設中であり、ニセコ町、蘭越町には小規模水力発電が存在する。泊発電所は北海道の電力の約4割を供給することとなり、国のエネルギー政策により大議論がされ、様々な場で質問をしてきました。プルサーマル計画は地元町村のご理解をいただき、安全と安心、速やかな情報の開示を大前提とし地域振興が計られることとして了承されました。これにより二つの交付金が若宇四か町村に交付されることとなり道単独事業の特定周辺補助事業、毎年四か町村で1億円が、

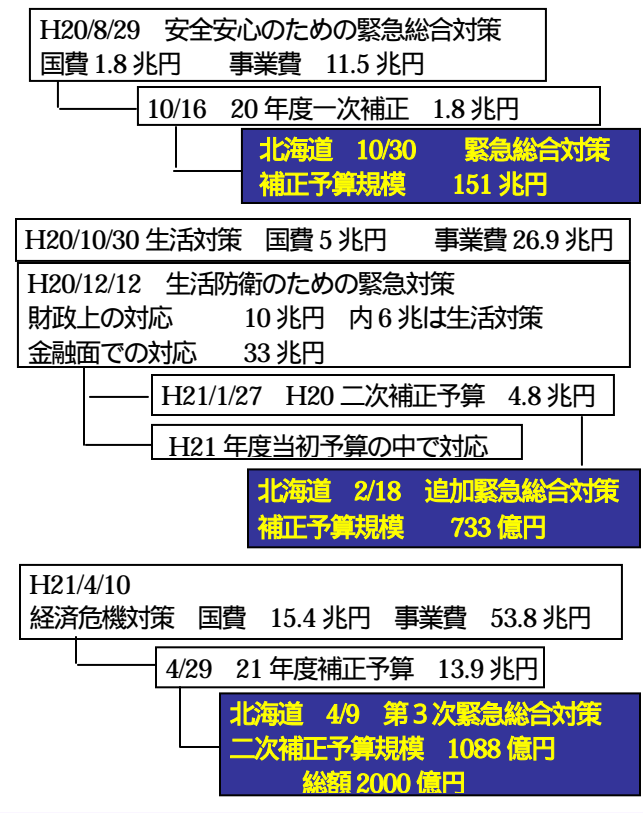
補助事業から交付金となり使途に幅が広がられると共に2億8千万円に増額された。又、プルサーマル計画の受け入れにより、核燃料サイクル交付金が道に総額60億円交付されることとなり使途については、5月に道との協議が始まり立地地域の振興施策に使われることとなる。今後執行に向けてしっかりと協議が望まれる。一方北海道電力の万全な安全対策と遅滞ない事業推進更に、地域との共生に期待したい。

「愚公山を移す」のたとえのごとく！プルサーマル計画に関連し、電力移出県等交付金について最初の質問から5年が経過しこれまで幾度となくエネ庁、永田町と通い多くの国会議員のお世話になりました。昨年経済産業副大臣となった、北海道第2区の衆議院議員吉川 貴盛代議士には特段の計らいをいただき平成二十一年から北海道に9億円が毎年交付される事となります。原発立地点に配慮した使途となりますが、一部は道の裁量による他地域への事業予算となるものと考えております。又、北海道電力のMOX燃料装荷が遅れる可能性もあり交付の前倒しを国に要請して参ります。多くの方々と一致協力して目的を持ち、じつくりと取り組むことも必要と勉強になりました。

私は、衆議院議員候補となる宮本 融さんを支援いたします。高橋はるみ知事の後輩であり、行政にもあかるく、気さくな人柄、若さと行動力は抜群、後志の即戦力となること間違いなし。皆様のご支援を宜しくお願い致します。



国と道の経済対策



医療・福祉の充実

国の緊急的臨時的医師派遣システムの施行に伴い岩内協会病院の医師対策で全国社会保険協会連合会に医師派遣の延長要請に行ってきましたが、当面の処置として効果はあったものの医師派遣は臨時措置で抜本的改革にならないこと、二次医療圏の基幹病院は厚知安厚生病院に於いても深刻で広域的医療システムと国による医師の増員対策が急務、国の経済緊急対策の21年度補正予算に医療・福祉を中心とした基金造成が見込まれており、こうした制度に採択される計画をしっかりと作ることが必要であり地域の実情をしっかりと伝えてまいります。

これまでも北海道、後志の大きな課題である、新幹線の札幌延伸、まだまだ先が見えてこない余市・黒松内間の高速度道路の早期着工については実現に向け更なる活動をしてまいります。その他、要諦山麓を核とした観光の振興、後志開発期成会からいただいている農山村・造林・治山・道路・河川・漁港・港湾・海岸・漁場整備等、多数の要望がされております。国の経済対策もあり小樽土木現業所管内については前年より事業予算が大きく伸びることが期待でき、事業計画の円滑な進みを確保するため大きく伸びる所も予想されます。又、入札最低価格も約90%に引き上げられます。いずれにしても自然豊かな後志の公共整備が確実に進められ、後世につながる豊かさを実感できる地域づくりに邁進してまいります。